

# 鉄道模型「美しい信州」表現

松本秀峰の同好会 全国コンテスト入賞

全国高校鉄道模型コンテストで入賞した鉄道同好会の作品



## JR中央東線とホテル舞う辰野描く 松本駅で展示

松本秀峰中等教育学校（松本市）の鉄道同好会が制作したジオラマの展示が9日、松本市の松本駅改札口前で始まった。8月に東京都内であった本年度の「全国高校鉄道模型コンテスト」で「JR東日本トレンシミュレータ賞」を受賞し、同駅で披露されることになった。作品はJR中央東線と、ホテルが舞う辰野町の風景を描いた。

幅90センチ、奥行き30センチの箱の中で作品を表現する「モジュール部門」に出品。全国155点の中から、入賞作品の一つに選ばれた。

作品名は「みすずはたる」。自分たちで回路を作り、緑色の小さな電球が点滅するようにし、ホテルの光を表現した。外箱は黒くし夜の雰囲気を出し、ホテルを見ながら歩く人や、ペーパークラフトで作った祭りの屋台も置いた。JR

中央東線の辰野―川岸間の風景をイメージして、実際と同じ電車の模型を置いた。

6月に「信州辰野はたる祭り」を訪れた5年（高校2年）の西谷優希さん（17）が「諏訪市が『この風景なら、信州の美しい自然を発信できるので』と提案。夏休みも使って4人で作り上げた。

同好会長の5年大宮諒真さん（17）が「茅野市は『最優秀賞ではなかったが、JRの名前が付いた賞を頂けてとても光栄。多くの観光客に見てもらい、信州の美しさを感じてほしい』と話した。

9日、松本駅で授賞式があり、駅担当者が大宮さんに賞状を手渡した。22日まで飾る。

# 秀峰の鉄道模型 全国入賞

## 辰野支線・ほたる祭り題材



蛍の光に浮かび上がる辰野の夜景を表した鉄道模型と、出展した秀峰の鉄道同好会員たち

松本秀峰中等教育学校の鉄道同好会が手掛けた鉄道模型が「第15回全国高等学校鉄道模型コンテスト」で入賞し、受賞作品の展示が9日、JR松本駅で始まった。中央本線辰野支線と上伊那郡辰野町のほたる祭りを題材に、高クオリティの模型を低コストで実現した作品で、類例の少ない夜景を表現した獨創性などが評価された。22日午後1時半まで、同駅構内のウエルカムセンターで見学できる。  
(有賀文彦)

## 鉄道同好会が制作 作品展示 松本駅で始まる

国内外から約160校が出展したモジュール部門で「JR東日本トレインシミュレーター賞」を受賞した。長辺90センチ、短辺30センチの規格内でNゲージの鉄道模型を自由に創作する部門だ。

秀峰の作品は「みずすほたる」。黒い板で四方を覆った空間の中に、辰野の里山を優しく照らし出す蛍の光やほたる祭りの夜店のにぎわい、地元の三輪神社などを忠実に再現した。信州らしい題材をと同好会員の高校2年・西谷優希さん(17)が現地を視察し、得られた情報を元に制作したという。蛍の独特の光り方を表現するため発光の基板を一から作ったり、路面のひび割れやコケといった細部にまでこだわったり。材料にはつまようじや竹串といった生活用品を活用し、予算を抑えた。

コンテストには同好会長の太宮諒真さん(17)・高校2年、西谷さん、中学3年の塩畑太朗さん(16)、同2年の三浦光平さん(14)のチームで臨んだが、同好会の他のメンバーも協力して一丸となつて作り上げたという。作品は「理事長特別賞」のほか、作品紹介の動画が「ベストムービー賞」にも選ばれた。太宮さんは限られた期間内の制作は苦労もあったが「いいジオラマができた」と納得できるものになった。達成感がある」と笑顔を見せていた。